

対象レベル : 幼稚園 - 小2 学年

指導時間 : 50 分

指導目的

1. 基礎的な挨拶のしかたを覚える。(hello/I am.../goodbye)
2. アルファベットを紹介し、文字と発音を結びつけて理解することができる。

指導教材

<Linckids Site>

アルファベット トレイン

“Alphabet Song”

<教師の事前準備>

正方形の付せん 8 枚、大きなアルファベット表、マグネット又はテープ、クレヨン又はマーカー、アルファベットカード(26 枚で 1 セットのカードをペア数分)、アルファベット トレインのコピー作成(児童数分)

指導案

	教師の指導	児童の英語遊び 活動内容	教材、 教具等	時間
導 入	<p><セッション 1 10 分> クラス全体に手を振りながら“Hello.”と挨拶をする。 何度も繰り返し、児童の反応を求める。 * “Hello. I am Sensei.”と挨拶する。 自分を指さしながら“I am Sensei.”と言う。 * を何度も繰り返す。 児童にも自分の名前でも * と同じように挨拶するように指示する。 児童の挨拶に答える。 “Hello. I am Sensei.”と挨拶を返す。 少なくとも他の 2 名の児童に * * のように挨拶してもらおう。 “Hello. I am Sensei.”と挨拶を返す。 今度は児童同士で挨拶をさせる。</p> <p>少なくとも 5 人の友達に挨拶をするように指示する。</p>	<p>“Hello.”と挨拶を返す。</p> <p>* * “Hello. I am (児童自身の名前).” と教師に挨拶する。</p> <p>他の 2 名の児童は * * をリピートする。</p> <p>児童同士で挨拶する。 児童①: “Hello. I am ①.” 児童②: “Hello. I am ②.” 児童同士挨拶をする。</p>		10 分

	教師の指導	児童の英語遊び 活動内容	教材、 教具等	時間
発 展	アルファベットトレインのコピーを1枚ずつ配る。 トレインに自由に色を塗らせる。 (作業中“Alphabet Song”を流すと良い。)	アルファベットトレインのプリントをもらう。 トレインに色を塗る。	アルファベットトレインのコピー(児童数分) クレヨン 又はマーカー	10分
	児童にペアになってもらい、ペアごとに座らせる。 それぞれのペアにアルファベットカード1セットを配る。 (カードは事前によくてんをきっておく) アルファベットを正しい順番に並べるように指示する。 完成したペアにはカードをまとめてあとかたづけさせる。	ペアごとに座る アルファベットカードをもらい、正しい順に並べる。 出来たペアからあとかたづけする。 (席はペアと隣り合ったまま)	アルファベットカード (ペア数分)	10分
ま と め	<p><セクション3 5分> クラス全体に“Goodbye.”と挨拶する。 何度も繰り返し、児童の反応を求める。</p> <p>上着を着てドアの方へ歩き、児童の1人に“Goodbye, (児童の名前).”と、挨拶する。</p> <p>他の2、3名の児童にも同じように挨拶する。</p> <p>今度は児童に先に挨拶をしてもらう。 児童1名を指名する。</p> <p>“Goodbye, (児童の名前).”と挨拶を返す。 他の2、3名の児童を指名し、挨拶を返す。 最後にペア同士で挨拶をしてもらう。</p>	<p>“Goodbye.”と挨拶を返す。</p> <p>“Goodbye, Sensei.”と挨拶を返す。 “Goodbye, Sensei.”と挨拶を返す。</p> <p>指名された児童は “Goodbye, Sensei.”と挨拶する。 指名された児童は “Goodbye, Sensei.”と挨拶する。 児童①: “Goodbye, ②.” 児童②: “Goodbye, ①.”</p>		5分

対象レベル: 3 - 4 学年

指導時間 : 50 分

指導目標

1. is/are の使い方の違いを理解する。
2. this/these の使い方の違いを理解する。

指導教材

<Linckids Site>

“Head, Shoulders, Knees and Toes”

<教師の事前準備>

本 3 冊、ペン又は鉛筆 5 本、人の顔が描かれた模造紙、顔の輪郭だけが描かれた模造紙
クレヨン又はマーカー、テープ又はマグネット、はさみ、のり、雑誌、紙

指導案

	教師の指導	児童の英語遊び 活動内容	教材、教具 等	時間
入 導	<p><セクション 1 10 分></p> <p>* 本を 1 冊手に取りゆっくりと “THIS IS a book.”と言う。</p> <p>** 本を 2 冊手に取りゆっくりと “THESE ARE books.”と言う。</p> <p>*** 本を 3 冊手に取りゆっくりと “THESE ARE books.”と言う。</p> <p>もう 1 度本を 1 冊手に取り “THIS IS a book.”と言う。</p> <p>もう 1 度本を 2 冊手に取り “THESE ARE books.”と言う。</p> <p>教師が本を 1 冊手に取って言った文と本 を 2 冊手に取って言った文の違いをたず ねる。(this is/these are)</p>	<p>リピートする。</p> <p>リピートする。</p> <p>リピートする。</p> <p>リピートする。</p> <p>教師の手にしている本 の冊数と、文を関連 づけてしっかり聞く。 教師の問いに答える。</p>	本 3 冊	10 分

	教師の指導	児童の英語遊び 活動内容	教材、教具 等	時間
導 入	<p>“This is a book.”と言った時教師が何冊本を持っていたかをたずねる。(one) *を繰り返す。</p> <p>1つの物について話をする時、“this”と“is”を用いる事を明確に示す。 * *を繰り返す。</p> <p>教師の持っている本の冊数は1冊であるか、1冊以上であるかをたずねる。(1冊以上)</p> <p>1つ以上の物について話をする時、“these”と“are”を用いる事を明確に示す。 * * *を繰り返す。</p> <p>教師が持っている本の冊数は1冊であるか1冊以上であるかをたずねる。(1冊以上)</p> <p>1冊以上の本を持っているので“these”と“are”を用いる事を確認する。 今学習した事はまた授業の最後に復習する事を児童に伝える。</p>	<p>教師の問いに答える。</p> <p>教師の問いに答える。</p> <p>教師の問いに答える。</p>		
展 開	<p><セクション 2 30分></p> <p>“Head, Shoulders, Knees and Toes”の曲紹介。 2、3回歌う。</p> <p>次の授業で体の部分の言いかたを更に勉強する事を伝え、今日の授業では顔の部分の言い方を勉強する事を示す。</p>	<p>曲に合わせて歌う。</p>	<p>音声教材</p>	<p>5分</p>
	<p>黒板に人の顔が描かれた大きな模造紙をはる。</p> <p>顔を示して、今日は顔の部分の言いかたを英語で勉強する事を伝える。</p> <p>絵の髪の毛を指して “This is HAIR.,HAIR.”と言う。</p>	<p>Hairをリピートする。 自分の髪に触れる。</p>	<p>顔が描かれた模造紙 マグネット 又は テープ</p>	<p>5分</p>

	教師の指導	児童の英語遊び 活動内容	教材、教具 等	時間
展 開	<p>目を指して “These are EYES, EYES.”と言う。</p> <p>鼻を指して “This is the NOSE, NOSE.”と言う。</p> <p>頬を指して “These are CHEEKS, CHEEKS.”と言う。</p> <p>口を指して “This is the MOUTH, MOUTH.”と言う。</p> <p>あごを指して “This is the CHIN, CHIN.”と言う。</p> <p>ランダムに顔の各部を指して言いかたを練習させる。</p> <p>各部それぞれ2回程度練習させる。</p>	<p>Eyes をリピートする。 自分の目に触れる。</p> <p>Nose をリピートする。 自分の鼻に触れる。</p> <p>Chin をリピートする。 自分の頬に触れる。</p> <p>Mouth をリピートする。 自分の口に触れる。</p> <p>Chin をリピートする。 自分のあごに触れる。</p> <p>教師の指した部分を英語で言う。</p>		
	<p>顔の輪郭が描かれた模造紙を黒板にはる。</p> <p>ボランティアを募り、顔の輪郭に髪を描き加えるように指示する。 (色もスタイルも自由に描かせる)</p> <p>別のボランティアを募り、目を描き加えるように指示する。</p> <p>全ての部分が描き加えられ、顔が完成するまでボランティアを募る。</p>	<p>ボランティアの児童は前に出てきて、顔の各部を輪郭の中に描き加える。</p>	<p>顔の輪郭の描かれた模造紙</p> <p>マグネット</p> <p>又は</p> <p>テープ</p> <p>クレヨン</p> <p>又は</p> <p>マーカー</p>	5分
発 展	<p>生徒にペアになってもらい、それぞれのペアに紙を1枚と雑誌1、2冊を配る。</p> <p>雑誌から顔の部分を切り取り、紙に貼り付けさせて、面白い顔を作成させる。</p> <p>完成した面白い顔をそれぞれのペアに発表させ、全ての顔の部分を英語で言ってもらう。</p> <p>本を1冊手に取り“this is”と言うべきか“these are”と言うべきかを問う。</p> <p>(this is)</p> <p>本は1冊なので“this is”と言うべき事を確認する。</p>	<p>ペアになる。</p> <p>顔の各部を切り取り、紙に張り付ける作業をペアで進める。</p> <p>発表する。</p> <p>教師の問いに答える。</p>	<p>雑誌、紙</p> <p>はさみのり</p> <p>本1冊</p>	15分

Silver I-Lesson 1
顔の各部の言いかた

	教師の指導	児童の英語遊び 活動内容	教材、教具 等	時間
ま と め	<p><セクション3 10分> ペン又は鉛筆を5本手に取り “These are pens.”と言う。 何故“this is”ではなく“these are” と言うべきかを問う。 (ペンは1本以上であるから) 自分の机や、かばんの中の物を例にして “this is”であるか“these are”であるかを発表 させる。</p>	<p>教師の問いに答える。 自分の所有物を使って “this is”であるか “these are”であるかを 考え、発表する。</p>	<p>ペン又は 鉛筆5本</p>	<p>10分</p>

対象レベル : 5 - 6 学年

指導時間 : 50 分

指導目標

1. 食べ物の言いかたを覚える。
2. メニューを読むことができる。
3. レストランで注文する際の表現を覚える。
4. 英単語の綴りかたを学習し、練習する。

指導教材

<Linckids Site>

食べ物のピクチャーカード

レストランのメニューのコピーグループ数分

レストランで注文する際の会話文の台本

<教師の事前準備>

レストランの設定(テーブル、椅子)、メモ用紙、ペン1本、紙(生徒数分)、クレヨン又はマーカー

指導案

	教師の指導	児童の英語遊び 活動内容	教材、教具 等	時間
導 入	<p><セクション1 10分></p> <p>クラス全体に食べ物のピクチャーカードを1枚ずつ見せながら、食べ物の名前を発音する。 ピクチャーカードを1枚ずつ児童に配る。</p> <p>児童に、自分が持っているカードの名前を教師が発音するのを聞いたら起立するように言う。</p> <p>食べ物の名前を発音する。</p> <p>全ての食べ物の名前を発音する。</p> <p>児童を着席させる。(Sit down, please.)</p> <p>全てのカードを回収し、てんを切る。</p>	<p>リピートする。</p> <p>教師からピクチャーカードをもらう。</p> <p>食べ物の名前の発音を良く聞き、自分のカードが発音されたら起立する。</p> <p>カードを返却する。</p>	ピクチャーカード	10分

	教師の指導	児童の英語遊び 活動内容	教材、教具 等	時間
導入	<p>食べ物の名前を用いたゲームをする事を伝える。</p> <p>ピクチャーカードを全ての児童に1枚ずつ配る。</p> <p>この時、自分のカードを見ても良いが、他の人には見せないように言う。</p> <p>ルールを説明する。</p> <p>教師が“GO!”と言ったと同時に、児童達は“Do you have any (自分の持っている食べ物の名前)?”と、他の児童達に聞いて回るように言う。</p> <p>聞かれた食べ物を持っていない場合、“No, I do not have (聞かれた食べ物の名前)”と言い、聞かれた食べ物を持っている場合は“Yes, I do.”と言い、自分のカードを相手に渡さなければならない。</p> <p>5分経過した時点で“Time’s up.”と合図する。</p>	<p>教師からカードをもらい、自分のカードを確認する。</p> <p>教室を自由に歩き回り、お互い英語で質問する。</p> <p>ゲーム時には日本語はいっさい話さない。</p> <p>なるべく多くの生徒に質問し、手持ちカードを増やしていく。</p> <p>時間切れの時点で、手持ちカードが最も多い児童の勝ちとする。</p>		
展開	<p><セクション2 25分></p> <p>レストランの場面設定をする。</p> <p>2名の児童に前に出てきてもらい、寸劇をしてもらう。</p> <p>客、店員の台本をそれぞれの児童に渡す。</p> <p>客役の児童に設定した席に着いてもらう。</p> <p>店員役の児童にメニューのコピー、ペン、メモ用紙を手渡す。</p> <p>2名の児童に台本通り寸劇を進めてもらう。</p>	<p>2名の児童は前に出る。</p> <p>客役の児童は席に着き、店員役の児童は小道具をもらう。</p> <p>台本に目を通す。</p> <p>台本を読みながら寸劇をする。</p> <p>他の児童は寸劇を鑑賞する。</p>	<p>テーブル</p> <p>椅子</p> <p>台本</p> <p>ペン</p> <p>メモ用紙</p> <p>メニューのコピー</p>	10分

Gold I-Lesson 1
レストランで注文する

	教師の指導	児童の英語遊び 活動内容	教材、教具 等	時間
発 展	<p>クラスを3、4名のグループに分ける。 各グループにメニューのコピーを配る。</p> <p>各グループで、レストランで食べ物を注文する設定での寸劇の台本を作成するように指示する。</p> <p>台本が出来上がったら、練習に入るように指示する。</p> <p>各グループにオリジナルの寸劇を発表してもらおう。</p>	<p>グループに分かれる。 メニューのコピーを受け取る。</p> <p>メニューを見ながらグループごとに寸劇の台本を作成する。</p> <p>寸劇の練習に入る。 教室の前に出て、発表する。</p> <p>他のグループの寸劇を鑑賞する。</p>	<p>メニューのコピー (グループ数分)</p> <p>レストランの設定 ペン メモ用紙</p>	15分
ま と め	<p><セクション3 15分> 児童に1枚ずつ紙を配る。</p> <p>児童に、自分がレストランのオーナーになったつもりでレストランの名前を考え、更にメニューを作成するように指示する。</p> <p>メニューは全て英語で作成してもらい、それぞれの食べ物の説明も記述してもらおう。 メニューに色を塗らせ、教室内に掲示する。</p>	<p>自分のレストランのメニューを作成する。</p> <p>メニューに色を塗る。</p>	<p>紙 (児童数分)</p> <p>クレヨン 又は マーカー</p>	15分

レストランで注文する ～ 台本 ～

店員： こんにちは。私の名前は……です。あなたのウェイトスタッフです。

客： こんにちは。スープありますか。

店員： はい。チキンスープがあります。

客： チキンスープをお願いします。

店員：他に何かご注文はございますか。

客： はい。ハンバーガーをお願いします。

店員：ハンバーガーと一緒にポテトはいかがですか。

客：いいえ、結構です。その代わりに、サラダをお願いします。

店員：かしこまりました。何か飲み物はいかがですか。

客：はい。お水をお願いします。

店員：ご注文有り難うございます。すぐにご注文の品をお持ちいたします。

客：有り難うございます。

客はランチを食べる振りをする。

店員：いかがでしたか。

客：とてもおいしかったです。有り難う。

店員：他に何かお持ちしましょうか。

客：いいえ、結構です。

店員：良い1日を。

客：あなたも。

店員は退場する。